

様式第1号の10（第4条の3関係）

中間検査チェックシート

（集団規定）

確認済証番号	第	号
確認済年月日	年	月 日

検査項目	照 合 内 容	工事 監 理 者	検査記録		
			A:目視検査 B:実測検査 C:監理者報告	結果	修正
1 確認の表示 (法第89条)	ア 有 無		A : B : C	適・否	
2 敷地の安全性 (法第19条)	ア がけ、擁壁の安全性		A : B : C	適・否	
3 敷地と道路 との関係 (法第42条、 および第43条)	ア 道路の幅員		A : B : C	適・否	
	イ 道路に接する敷地の長さ		A : B : C	適・否	
	ウ 法第42条第2項道路の後退		A : B : C	適・否	
	エ 法第43条許可との整合		A : B : C	適・否	
4 敷地形状 および配置 (法第52条 から 第54条の2)	ア 敷地形状の確認（敷地の形、境界および高低差）		A : B : C	適・否	
	イ 配置の確認（道路または隣地からの離隔距離）		A : B : C	適・否	
	ウ 既存建物の有無（建ぺい率および容積率）		A : B : C	適・否	
5 斜線制限 (法第56条 および 第56条の2)	ア 確認図書との立面図および断面図との整合		A : B : C	適・否	
	イ 道路からの後退距離の確認 （道路との高低および塀等の高さ）		A : B : C	適・否	
	ウ 隣地からの後退距離の確認		A : B : C	適・否	
	エ 北側敷地との高低差		A : B : C	適・否	
6 工事現場の 危害防止 (法第90条)	ア 仮囲い		A : B : C	適・否	
	イ 危害防止（根切り 転倒等）		A : B : C	適・否	
	ウ その他		A : B : C	適・否	
7 その他	ア		A : B : C	適・否	
	イ		A : B : C	適・否	

工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。
なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。

工事監理者への 指摘事項等	中間検査	合格 不合格 合格保留	後続工程	可 不可	工事監理者名（立会）

中間検査チェックシート

（基礎工程）

検査項目	照 合 内 容		工 事 監 理 者	検査記録		
				A : 目視検査 B : 実測検査 C : 監理者報告	結果	修正
1 基礎種別	ア	基礎種別の確認（連続、ベタ、独立および杭）		A : B : C	適・否	
	イ	支持地盤の確認		A : B : C	適・否	
2 部材の配置	ア	基礎の配置の確認		A : B : C	適・否	
	イ	耐圧盤の配置の確認		A : B : C	適・否	
	ウ	大梁、小梁およびフーチングの配置の確認		A : B : C	適・否	
3 基礎の種類	ア 独立基礎	ベース筋の方向、形状、および寸法の確認		A : B : C	適・否	
		ベース筋の径、間隔、本数およびかぶり厚さ		A : B : C	適・否	
	イ 布基礎	ベース筋の方向、形状、および寸法の確認		A : B : C	適・否	
		ベース筋の径、間隔、本数およびかぶり厚さ		A : B : C	適・否	
	ウ ベタ基礎	耐圧盤厚み、ベース筋の径、間隔、主筋方向、定着およびかぶり厚さ		A : B : C	適・否	
		継手位置、継手長さおよび形状の確認		A : B : C	適・否	
	エ 杭基礎	杭の位置、径および本数の確認		A : B : C	適・否	
		主筋、帯筋の径、間隔、本数およびかぶり厚さ		A : B : C	適・否	
		ベース筋の方向、形状、および寸法の確認		A : B : C	適・否	
		ベース筋の径、間隔、本数およびかぶり厚さ		A : B : C	適・否	
	オ 地中梁	継手位置、継手長さおよび形状の確認		A : B : C	適・否	
		主筋の定着長さ		A : B : C	適・否	
		中吊り筋の（2段筋）の位置		A : B : C	適・否	
		主筋、あばら筋、副筋の径、間隔、本数およびかぶり厚さ		A : B : C	適・否	
カ 柱型柱脚部	柱主筋の径、本数およびかぶり厚さ		A : B : C	適・否		
	フーチングへの定着長さ		A : B : C	適・否		
	継手位置、継手長さおよび形状の確認		A : B : C	適・否		
キ	帯筋の径、間隔、本数およびかぶり厚さ		A : B : C	適・否		
	アンカーボルトの位置、径、本数および長さ		A : B : C	適・否		
4 その他	ア			A : B : C	適・否	
	イ			A : B : C	適・否	

工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。
 なお、否の場合は、それに対する措置等を下記に記入のこと。

工事監理者への指摘事項等	中間検査	合格	不合格	合格保留	後続工程	可	不可
--------------	------	----	-----	------	------	---	----